外郭団体経営健全化方針の概要と取り組み状況

【名古屋食肉市場株式会社】

経営健全化方針の記載内容	令和3年度の取り組み結果
［市］ ・債務超過解消のために市支援や経営改善の指導を継続する。	・債務超過解消の早期回復に向けて経営改善の指導を行うとともに、新型コロナウイルスによる経営への影響を注視しながら、特別集荷促進事業補助などの支援を行った。
集荷経費の削減 ・出荷奨励金等の引き下げを出荷者と調整し、経費の削減に取り組む。 ・出荷懇請による集荷を強化する地域について、輸送経費助成など集荷経費の負担が大きい遠方から、集荷経費の負担が少ない近隣へシフトしていくことにより、利益の増加を図る。	・出荷者と調整し、一部の出荷奨励金については令和元年度に廃止している。 ・近隣からの集荷を行うとともに、買参人のニーズに合わせ鹿児島・宮崎などの遠方からの集荷を行い、頭数を確保した。
新規事業の検討 ・卸売市場法改正による規制緩和を受け、収益を拡大するため、国の推奨する輸出事業やＩＴの活用の可能性を含め、新規事業への取り組みを検討する。 ・新たに部分肉加工事業に取り組み、買参人のニーズへの対応及び利便性向上、新規買参人の開拓を図る。	・市場内の加工施設に大手食肉業者2社を誘致したことにより、頭数の確保に努めた。 ・買参人のニーズに対応するため、部分肉加工事業に取り組んだ。
人件費の抑制 ・正規職員数を見直し、嘱託・臨時職員を活用することで人件費の抑制を図る。	・常勤職員の退職があったが、新規採用は行わなかった。なお、退職者については、嘱託職員として採用し人員は確保した。常勤役員の退職があったが、補充はしていない。
ブランド牛の活用 ・出荷者・買参人を交え、ブランド牛の強化に取り組み、取引単価の上昇・市場価値の上昇を図る。	・立ち上げに携わったみかわ牛や鹿児島・宮崎などのブランド牛の集荷に努めることにより、市場価値の上昇に努めた。
その他 ・引き続き、資金需要に応じた借入による支払利息の縮減、販売管理費の節減など経費削減に取り組むとともに、与信管理強化による債権管理につとめ、出荷懇請活動による取扱高の確保に取り組む。	・資金需要に応じた借入をするとともに、金融機関との交渉による金利の引き下げにより、支払利息が大幅に減少した。 ・与信管理を強化し債権管理に努めた。 ・コロナにより出荷懇請活動は厳しかったものの、取扱高の確保に取り組んだ。

団体名（名古屋食肉市場株式会社）

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産総額	3,435,033	3,482,618	2,977,778	3,050,593	3,000,345
負債総額	4,671,091	4,532,066	3,919,508	3,878,077	3,691,128
純資産総額	▲ 1,236,058	▲ 1,049,449	▲ 941,730	▲ 827,484	▲ 690,783

（損益計算書から）

（単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収益	7,066,440	7,102,783	6,720,117	6,136,305	6,168,380
経常費用	6,890,815	6,894,376	6,576,860	5,983,167	5,968,878
経常損益	175,625	208,407	143,257	153,139	199,502
経常外損益	8,044	48,282	12,771	13,567	▲ 2,800
当期純損益	119,900	186,609	107,718	114,246	136,702

○財政的リスクの状況

（単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
債務超過額	1,236,058	1,049,449	941,730	827,484	690,783
損失補償、債務保証及び短期貸付けの合計額（A）	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000
標準財政規模（B）	642,220,441	644,498,894	646,827,243	654,510,356	673,008,099
（A）／（B）	0	0	0	0	0